

学校アクションプラン

平成30年度 南砺平高等学校アクションプラン - 1 -					
重点項目	学習活動				
重点課題	学習に取り組む態度の育成および教師の指導力の向上				
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力が不足しているため、教科内容の習得に時間がかかる生徒がいる。 ・学習する目的が明確でなく、課題への取り組み・提出に問題がある生徒がいる。 ・家庭での学習時間が不足し、十分な態勢で授業や考査に臨んでいない生徒もいる。 ・教員の年齢層が大きく2つに分かれており、両者について授業における指導力の向上が必要である。 				
達成目標	<table border="1"> <tr> <td>①学習時間の確保 ・生徒の1週間あたりの家庭学習時間 (家庭学習には放課後に自主的に行う学習も含む)</td> <td>②教師の授業における指導力の向上 ・教科に関する研修会、講習会等への参加</td> </tr> <tr> <td>・各学年平均600分以上</td> <td>・教員一人平均3回以上</td> </tr> </table>	①学習時間の確保 ・生徒の1週間あたりの家庭学習時間 (家庭学習には放課後に自主的に行う学習も含む)	②教師の授業における指導力の向上 ・教科に関する研修会、講習会等への参加	・各学年平均600分以上	・教員一人平均3回以上
①学習時間の確保 ・生徒の1週間あたりの家庭学習時間 (家庭学習には放課後に自主的に行う学習も含む)	②教師の授業における指導力の向上 ・教科に関する研修会、講習会等への参加				
・各学年平均600分以上	・教員一人平均3回以上				
方 策	<table border="1"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が取り組みやすい課題内容を検討し、家庭で学習する習慣を身に付けさせる。 ・学習・生活実態調査を通年実施し、指導・助言を行う。 ・調査結果を考査ごとに共有し、意識付けを図る。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・外部機関や他校での研修会の情報を提供し、積極的に参加するように働きかける。 ・年に2回互見授業を行い、資質の向上を図る機会とする。 ・教科ごとの打ち合わせをこまめに行い、生徒や教材に関する情報を共有する。 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が取り組みやすい課題内容を検討し、家庭で学習する習慣を身に付けさせる。 ・学習・生活実態調査を通年実施し、指導・助言を行う。 ・調査結果を考査ごとに共有し、意識付けを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関や他校での研修会の情報を提供し、積極的に参加するように働きかける。 ・年に2回互見授業を行い、資質の向上を図る機会とする。 ・教科ごとの打ち合わせをこまめに行い、生徒や教材に関する情報を共有する。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が取り組みやすい課題内容を検討し、家庭で学習する習慣を身に付けさせる。 ・学習・生活実態調査を通年実施し、指導・助言を行う。 ・調査結果を考査ごとに共有し、意識付けを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関や他校での研修会の情報を提供し、積極的に参加するように働きかける。 ・年に2回互見授業を行い、資質の向上を図る機会とする。 ・教科ごとの打ち合わせをこまめに行い、生徒や教材に関する情報を共有する。 				
達成度	<table border="1"> <tr> <td>1月末まで 第1学年 470分(前年度476分) 第2学年 475分(前年度599分) 第3学年 873分(前年度674分) 平均 606分(前年度583分)</td> <td>1月末まで 教員一人平均5.7回</td> </tr> </table>	1月末まで 第1学年 470分(前年度476分) 第2学年 475分(前年度599分) 第3学年 873分(前年度674分) 平均 606分(前年度583分)	1月末まで 教員一人平均5.7回		
1月末まで 第1学年 470分(前年度476分) 第2学年 475分(前年度599分) 第3学年 873分(前年度674分) 平均 606分(前年度583分)	1月末まで 教員一人平均5.7回				
具体的な取組状況	<table border="1"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・学習・生活実態調査を通年で実施し、学習時間が十分でない生徒には担任の方から随時指導や助言を行った。 ・第3学年の学習時間は年間を通してほぼ確保されていた。しかし、第1, 2学年は定期考査前以外は十分でなかった。 ・検定合格の目標を学習の意識付けとしたが、合格を目標とできず、取り組みない生徒もいた。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・外部機関や他校からの研修会に積極的に参加する教員が増えた。また、校内でもICT教育に関する研修を行い、研鑽を深めた。 ・年2回の互見授業週間では、ICTに関する研究授業を行い、見学した教員が良い点、気がついた点を伝え合った。 ・今年度は新しい学習指導要領を周知することが求められており、目標を大きく上回った。 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習・生活実態調査を通年で実施し、学習時間が十分でない生徒には担任の方から随時指導や助言を行った。 ・第3学年の学習時間は年間を通してほぼ確保されていた。しかし、第1, 2学年は定期考査前以外は十分でなかった。 ・検定合格の目標を学習の意識付けとしたが、合格を目標とできず、取り組みない生徒もいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関や他校からの研修会に積極的に参加する教員が増えた。また、校内でもICT教育に関する研修を行い、研鑽を深めた。 ・年2回の互見授業週間では、ICTに関する研究授業を行い、見学した教員が良い点、気がついた点を伝え合った。 ・今年度は新しい学習指導要領を周知することが求められており、目標を大きく上回った。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・学習・生活実態調査を通年で実施し、学習時間が十分でない生徒には担任の方から随時指導や助言を行った。 ・第3学年の学習時間は年間を通してほぼ確保されていた。しかし、第1, 2学年は定期考査前以外は十分でなかった。 ・検定合格の目標を学習の意識付けとしたが、合格を目標とできず、取り組みない生徒もいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関や他校からの研修会に積極的に参加する教員が増えた。また、校内でもICT教育に関する研修を行い、研鑽を深めた。 ・年2回の互見授業週間では、ICTに関する研究授業を行い、見学した教員が良い点、気がついた点を伝え合った。 ・今年度は新しい学習指導要領を周知することが求められており、目標を大きく上回った。 				
評 価	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	B	A		
B	A				
学校評議員の意見	<table border="1"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生は、進路意識をしっかり持っているので学習するのではないかと。1, 2年生にも早期から意識を持たせることが大切である。 ・学習時間の長さも大切であるが、学習に取り組む集中力も大切である。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・先生方は、しっかり研修しており、努力していると感じた。 ・研修の成果を生かして、ぜひ生徒たちの学習につなげてほしい。 ・小規模校ならではの少人数で手厚い指導をお願いしたい。 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生は、進路意識をしっかり持っているので学習するのではないかと。1, 2年生にも早期から意識を持たせることが大切である。 ・学習時間の長さも大切であるが、学習に取り組む集中力も大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方は、しっかり研修しており、努力していると感じた。 ・研修の成果を生かして、ぜひ生徒たちの学習につなげてほしい。 ・小規模校ならではの少人数で手厚い指導をお願いしたい。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・3年生は、進路意識をしっかり持っているので学習するのではないかと。1, 2年生にも早期から意識を持たせることが大切である。 ・学習時間の長さも大切であるが、学習に取り組む集中力も大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方は、しっかり研修しており、努力していると感じた。 ・研修の成果を生かして、ぜひ生徒たちの学習につなげてほしい。 ・小規模校ならではの少人数で手厚い指導をお願いしたい。 				
次年度に向けての課題等	<table border="1"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒に必要なかつ取り組みやすい課題を与え、やる気を喚起させることは本校の課題である。各種検定に挑戦させることや昨年度、先週のデータを提示するなど、生徒を常に意識させることを次年度も継続したい。一方で、卒業後の進路を早期に意識させることが学習する意欲につながるので、面接等を継続的に行っていきたい。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着と向上のため、学校全体でICT教育による分かる授業を行う取り組みを、今年度は校内で推進することができた。次年度は今年度の良かったところを精選し、さらに取り組むことが必要である。 ・若手の教員だけでなく、すべての教員が積極的に校外の研修に参加した。今年度のように、生徒だけでなく教員も向上する姿勢を大切にしていきたい。 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に必要なかつ取り組みやすい課題を与え、やる気を喚起させることは本校の課題である。各種検定に挑戦させることや昨年度、先週のデータを提示するなど、生徒を常に意識させることを次年度も継続したい。一方で、卒業後の進路を早期に意識させることが学習する意欲につながるので、面接等を継続的に行っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着と向上のため、学校全体でICT教育による分かる授業を行う取り組みを、今年度は校内で推進することができた。次年度は今年度の良かったところを精選し、さらに取り組むことが必要である。 ・若手の教員だけでなく、すべての教員が積極的に校外の研修に参加した。今年度のように、生徒だけでなく教員も向上する姿勢を大切にしていきたい。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に必要なかつ取り組みやすい課題を与え、やる気を喚起させることは本校の課題である。各種検定に挑戦させることや昨年度、先週のデータを提示するなど、生徒を常に意識させることを次年度も継続したい。一方で、卒業後の進路を早期に意識させることが学習する意欲につながるので、面接等を継続的に行っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着と向上のため、学校全体でICT教育による分かる授業を行う取り組みを、今年度は校内で推進することができた。次年度は今年度の良かったところを精選し、さらに取り組むことが必要である。 ・若手の教員だけでなく、すべての教員が積極的に校外の研修に参加した。今年度のように、生徒だけでなく教員も向上する姿勢を大切にしていきたい。 				

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

平成30年度 南砺平高等学校アクションプラン - 2 -

重点項目	学校生活	
重点課題	安全な学校生活と保健室の利用の仕方について	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路である国道304号線は大型車やスピードが速い車両が多く、地域がら見通しの悪いカーブも有り登下校時は危険である。 ・自転車や徒歩による登下校時の交通ルールに対して、安易な行動が時々見受けられる。 ・学校付近に世界遺産があるため観光客も多く、見知らぬ人から声をかけられる可能性が高い。 ・周囲には商店や高校生が利用できる施設等も少なく、スマホや携帯といった通信機器に依存し、トラブル等に巻き込まれやすい環境である。 ・生徒数が少ないことにより、人間関係が深いものとなりやすく、ささいなことから人間関係トラブルやいじめにつながる恐れがある。 ・昨年度の安全実態調査(3学期)によると、学校に相談する人がいないと答えた生徒が全体の16%(70名中11名、どちらともいえないも含む)であった。 ・定期健康診断後、治療を要する結果であるにもかかわらず未受診のままの生徒が多い。自身の健康意識を高める必要がある。 	
達成目標	①安全な学校生活を送る	②歯科検診の結果から、受診を勧める
	<ul style="list-style-type: none"> ・交通ルールの遵守95%以上 ・通信機器の安全な利用についての意識付け95%以上 ・学校に相談相手がいると答えられる生徒95%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科受診報告書の提出 70%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやか運動や登校指導を利用し、交通ルールへの意識を高める。 ・通信機器によるネットトラブルを予防するために、講習会等を実施して啓発する。 ・教職員が日頃の声かけや毎学期の面接により生徒が悩みを訴えやすい雰囲気作りに努める。 ・集会やST、HRを利用し、何かあった場合の対応策について周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりで歯科疾患の予防や心身の健康を保持する具体的な取り組みを発信するなど、日頃から自己の健康について関心を高め、自主的に健康管理ができるように啓発する。 ・STやHR、生徒厚生委員会の活動を通して、治療を放置した場合に起こる疾患や症状を説明し、受診への自覚を促す。
達成度	<p><1,2学期実施の安全実態調査より> (調査結果:1学期、2学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通ルールを遵守している(95%、96%) ・通信機器の安全な利用(98%、94%) ・学校に相談相手がいる(82%、79%) 	<p>歯科受診勧告者数17名のうち、受診者数 5名 未受診者数 12名</p> <p>受診率は29%</p>
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやか運動や登校指導、警察官による交通安全教室を行い、交通ルールの遵守を意識付けた。特に、自転車のながら運転について繰り返し注意を促した。 ・ネットトラブル講習会を開催し、ネットの危険性を認識させた。また、集会等でネット利用の注意すべきことを繰り返し呼びかけた。 ・生徒会主体で生徒のスマホ利用時間調査を行い、各自のネット依存を意識させた。 ・いじめや生徒の悩みに対しては、学期ごとの安全実態調査や全生徒対象の面接を実施し、生徒の思いを聞き取るとともに職員間の情報共有を図り、早期発見・早期対応に努めた。 ・今年度は臨床心理士による「心の健康セミナー」を実施し、心のSOSの出し方について伝えるとともに、友人の気持ちの受け止め方についても講習した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未受診者に対して、数回にわたり直接本人に受診を呼びかけた。また、保護者懇談会時には、保護者にも受診するように伝えた。 ・保健だよりで歯科疾患の予防について取りあげ、自己の健康管理意識が高まるように発信した。 ・生徒厚生委員会の活動として、南砺平高校生の歯に関する意識調査を行い、学園祭でその結果や歯周病に関する展示をして受診を呼びかけた。 ・学校保健委員会で歯に関することを話題として取りあげた。
評 価	B	C
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットに関する指導の強化が必要である。 ・ネットへの投稿(動画など)に注意することやネットで知り合った人と絶対に会わないようしっかり指導してほしい。 ・いじめに対してしっかり対応してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平診療所の利用をすすめるとうい。 ・保護者に伝えているにもかかわらず受診しないようであれば、最後は自己責任である。だが、受診の声かけは今後も続けてほしい。

<p>次年度に向けての課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し注意しているにもかかわらず歩きながらのスマホの使用の実態がある。登下校時のマナーと安全についての継続的な指導が必要である。 ・生徒との面談を継続して行うとともに、スクールカウンセラーと連携して生徒の悩みを早期に把握し、適切に対応していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受診する時間がとれないという理由の生徒に対して、学校保健委員会で平診療所の歯科をもっと利用すればよいというアドバイスをいただいた。平診療所の診療時間を生徒に示し、利用をすすめていきたい。 ・粘り強く、受診をするよう声かけをする。
--------------------	--	--

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

平成30年度 南砺平高等学校アクションプラン - 3 -

重点項目	進路支援	
重点課題	進路意識の高揚および生徒個々の希望進路に応じた力の育成	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・進路先が大学から就職まで多様で、学力差も大きく、十分な対応ができていない所もある。 ・社会情勢に疎い生徒が多く、毎日ニュースを見る生徒は50%程である。 ・外部模試は、年間3回受験させているが、検定試験は余り実施されていない。今年は、外部模試を3回、検定試験を4回の計7回実施する予定である。 	
達成目標	①毎日ニュースを見る生徒の割合	②検定や外部模試の希望者受験(5回)について (a)5回中、1回以上受験する生徒の割合 (b)5回中、2回以上受験する生徒の割合
	70%以上	(a)90%以上 (b)50%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞を読みやすい環境作りに努める。 ・長期休業中にニュースを見る課題を出したり、朝学習で新聞に関する課題を与えたりする。 ・ネットニュースも可とするが、見出しだけでなく記事まで読むように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年から外部模試と検定(漢字、数学、英語)試験を合わせて7回実施する予定である。7回中、2回は全員受験であるが、5回は希望者受験である。積極的に受験を促し、全員が何らかの資格を持って卒業することを目標にがんばらせたい。
達成度	57% 昨年は47%であった。目標には届かなかったが、増加した。	(a)82%(1年89%、2年100%、3年59%) (b)27%(1年22%、2年52%、3年7%) 学年別に見ると、2年生は目標を達成できた。
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・上記のような方策を講じた。廊下の新聞コーナーで、新聞を読む生徒の姿は、昨年より増えてはいた。 ・なお、ニュースを何で見るかの内訳は次の通りであった。 新聞10%、TV36%、ネット54% 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年までは、外部模試3回は全員受験、検定は希望者受験であった。今年から全員受験を2回にし、希望者受験を増やし、積極的によびかけた。 ・目標を達成できなかった理由には、1年生が受験できる機会が少なかった事、3年生が2学期以降受験モードに入って検定どころではなかったという事情がある。
評 価	B	
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞に興味を持たせる方法として、株をテーマにしてはどうか。例としては、4月に生徒全員が、どこかの会社に模擬株式投資をする。毎日値動きが気になるので新聞を見るようになるかもしれない。これについては授業との連携も考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員受験ではなく、希望者受験によって、生徒が意欲的に取り組めたのは大変よいことである。今後は、受験者数だけでなく、合格者数にも注目して、全員が何らかの資格を持って卒業するようになればよい。
次年度に向けての課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が、毎日何時間もスマホを使っているので、ネットニュースに興味を持たせるような仕掛けを考えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとに目標を設定すればよかった。また、検定結果(可否)や、模試や検定に向けた学習についてもよりよいものにしていきたい。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

平成30年度 南砺平高等学校アクションプラン - 4 -

重点項目	特別活動	
重点課題	特別活動の充実および読書習慣の定着	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高合同運動会、球技大会、ボランティア活動、文化発表会など、生徒会が積極的に取り組んでいる行事が多い。しかし、行事に意欲的に参加できない生徒の増加、活動の一体感が不足しているといった問題がある。 ・生徒の活躍する場面は多いが、生徒が学校では楽しいことや打ち込めることがあると答える生徒の割合が低い。(昨年度の3学期安全実態調査によると70名中「ある」が39名、「ない」が10名、「どちらともいえない」が21名) ・年間で一冊も本を読まない生徒が四割を超えており、生徒の読書離れが懸念されている。 ・図書館の蔵書冊数が他校に比べて少なく、十分とは言えない状況である。 	
達成目標	①学校行事、部活動、学校生活への満足度	②朝読書週間で一冊以上の本を読破する生徒の割合
	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の満足度を5段階で調査し、総合が4.0を超える生徒が70%以上 ・学校に楽しいことや打ち込めることがあると答える生徒が95%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎学期70%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自主性を生かした運営を重視して指導する。 ・多くの生徒が活動に参加、あるいは興味をもてるような計画づくりをする。 ・リーダー研修会や生徒議会などを通してリーダー性や積極性を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の読書週間を毎学期実施し、生徒全員が読書に取り組める機会を設ける。 ・「図書だより」の発行や「購入図書調査」を通して委員会活動を活性化し、読書への関心を高める。 ・図書室と学級文庫の蔵書を充実させる。 ・図書の配置を工夫する。
達成度	<p>満足度の総合が4.0を越えた生徒の割合 3年・64% 2年・18% 1年・50% 総合・44%</p> <p>主要8行事の満足度の平均値 3年・4.01 2年・3.70 1年・3.71</p> <p>学校に楽しいこと打ち込めるものがある 1学期 ある71%、どちらともいえない25%(計96%) 2学期 ある55%、どちらともいえない38%(計93%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6月のアンケート調査では、読書週間に1冊以上の本を読んだ生徒が約12%、12月は28%で目標に達することはできなかった。しかし、11月までに1冊以上の本を読んだ生徒数を調査した結果、74%の生徒が読んでおり、読書週間の期間が短いためこの期間内に読み切るのが難しいことが分かった。その他に、後期の読書週間中に図書室を利用する企画を行ったことにより、図書室利用への関心が高まったことも調査の結果から分かった。
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の中心となるリーダーに対しては、活動全体を見越した計画を立てるよう指導して、特別活動を通じて達成感を得られるようにした。 ・多くの生徒に役割が与えられるように工夫するような指導をした。 ・生徒が主体的に活動に取り組めるように、リーダーの自主性を引き出すような指導をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2学期に朝の読書週間を実施し、1学期はビブリオバトルと移動図書、2学期は学年ごとに日を決めて、図書室で朝の読書を行うという新たな試みを実施した。 ・読書週間に読みたい本のアンケートを実施し、より生徒の興味、関心に合わせた選書を行った。 ・前期後期各1回ずつ「図書だより」を発行した。 ・図書室前に新刊の写真やポスターを掲示した。 ・図書委員が不在時にも図書の返却ができるよう、返却ボックスを設置した。
評 価	C	
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高合同運動会は、三校合同で行う形式が定着してきて、地域の方々も期待している。今年度も大変よい運動会であった。 ・学年が上がるにしたがって満足度が高まっているので安心である。下級生の満足度が高まるような工夫をお願いしたい。 ・行事の様子や結果を発信する機会を増やすとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦図書を増やす工夫を継続して実施してもらいたい。

<p>次年度に向けての課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー以外の生徒を巻き込むような行事運営の方法を新たに構築する必要がある。 ・行事の立案をする際に生徒の意向調査をして、多くの生徒の考えが反映するような工夫が必要である。 ・部活動の体制を見直して、放課後の時間の更なる充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎学期の読書週間のみならず、今年度以上に各学年に協力を要請し、朝学習にも取り入れてもらうなど、読書の機会を増やす。 ・読書週間や図書室の利用方法などを広く周知する。新しい企画を考え、読書に取り組むきっかけづくりをする。 ・図書館の魅力を伝えるためにも、「図書だより」の継続をはかると同時に、学級文庫や図書館の蔵書の充実に努めていく。
--------------------	---	---

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

平成30年度 南砺平高等学校アクションプラン - 5 -

重点項目	その他(地域・家庭との連携、生徒寮生活)	
重点課題	教育活動への理解を深める情報発信の強化	生徒寮生活の充実と家庭との連携
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・各種「たより」は定期的に発行されており、「学校だより」は12月と3月に平・上平地域全戸に配付し、広報活動を行っている。 ・各種「たより」は紙面であるため、保護者の手に渡らない可能性がある。また、特定者向けの情報となるため、情報発信先が狭い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・寮生による自治運営が浸透しており、規律正しい寮生活ができています。 ・学習時間の充実、あいさつの励行など課題もある。 ・寮生活の様子が保護者に十分伝わっておらず、課題解決に向けた協力体制が不十分である。
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ①各種「たより」発行の継続とHPによる広報活動 ・(a)各種「たより」の年間発行回数 ・(b)HPでの情報発信による保護者の満足度 	<ul style="list-style-type: none"> ②寮生活の充実と家庭への連絡 ・「寮生だより」の発行回数
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・各分掌や学年を中心に広報誌の内容の充実を図ると共に、発行回数の維持または増加に努める。 ・(毎月)HPを行事ごとに更新し、各種「たより」を掲載することで、本校の教育活動をより広範囲へタイムリーに伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題や協議事項が発生した時は、速やかに寮生会議を開き対応する。 ・たよりの他にも、家庭への連絡を寮生を通じて多く発信する。
達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校だより」は学期に一度、年間3回発行。 ・「学年だより」は各学年、5回以上発行。 ・「生徒会だより」は7回発行。 ・HPに関する保護者への調査結果(7月実施) <HPをほぼ毎月見ている 19%> <HPを数ヶ月に1回見ている 39%>合計58% 	<ul style="list-style-type: none"> 寮生だよりは1回発行 学校だよりの生徒寮欄に掲載2回
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・各種「たより」は予定通り発行した。特に学年だよりや生徒会だよりは計画よりも回数が多く発行された。 ・年度当初にHPに関する保護者への調査を実施した結果、HPを見ておられる保護者が少なかったため、保護者からの要望を確認し、それをHPに生かすこととした。その結果、部活動や学校行事における生徒の活動の様子を知りたい保護者が多いことが分かった。 ・HPのリニューアルを9月末に実施し、保護者や外部の方の閲覧数が細かく確認できるようになった。それに伴い、保護者からの要望を踏まえ、以前よりも増して生徒の活動や行事をアップするよう努力した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに舎監会議で協議された事案を生徒寮長、副寮長と教員で共有し、寮生会議にも諮り、周知した。年間を通して問題点や改善点について話し合いを行った。 ・寮生による自治をより定着させ、生徒自身で運営出来る部分が増えると良い。
評 価	B	A
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・少しでも子供達の活動を発信するために、HPに弁論大会等の動画を入れたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・寮生だけでなく、自宅生もバスや保護者の迎えを待つ間などに、行政センターの図書館で学習している姿が見られる。他にもスペースがあるので、もっと利用してほしい。 ・小中学生が放課後にフリースペースを利用している。高校生もそこを是非利用してほしいし、そこで地元の小中学生や他の年代の人たちとも交流してほしい。

<p>次年度に向けての課題等</p>	<p>・HPの訪問者数から、興味関心のある項目を中心にさらにHPの充実を図り、本校の魅力を発信する。 備考:HP月別訪問者数 10月1049人 11月986人 12月920人 1月908人 1日平均36人 記事別訪問者数ベスト10(10月～1月の総人数) 郷土芸能431人 進路322人 生徒寮と給食294人 少人数教育278人 学校行事・部活動272人 学校概要266人 部活動成績222人 年間行事予定221人 南砺平高校の1年間203人 部活動紹介 203人</p>	<p>・4月のPTA総会後に、寮生保護者会を開き、保護者と意見交換を行っている。共通理解を深めるために、学期末などにも話し合える機会を設けると良い。 ・学習時間の確保と学習内容の充実も図る必要性を感じる。 ・年度初めは挨拶をすることやマナー、ルールを守ることが出来ているが、日経つごとに疎かになることがある。年間を通じて良い状態を保てるよう指導をする。</p>
--------------------	--	--

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)